



平成 24 年 11 月 27 日

各 位

会社名 株式会社 サクラダ
代表者名 代表取締役社長 曾田 弘道
(コード番号 5917 東証第1部)
問合せ先 総務部長 志村 正晴
(TEL. 043 - 441 - 6113)

破産手続開始の申立てに関するお知らせ

当社は、平成 24 年 11 月 27 日開催の取締役会において、破産手続開始の申立てを行うことを決議し、同日付で東京地方裁判所に破産手続開始の申立てを行い、同日、同裁判所より破産手続開始決定を受けましたので、下記のとおりお知らせいたします。

このような事態となり、株主様、お客様、お取引先様及び関係者の皆様には多大なるご迷惑をお掛けしますことを心よりお詫び申し上げます。

記

1. 申立ての理由

(1) 創業から平成 16 年 3 月期まで

当社は、創業以来、我が国有数の橋梁建設会社として、日本全国に数多くの鋼橋を建設し、交通インフラ整備の一翼を担ってまいりました。

しかし、当社の受注工事の大半を占める公共工事が、景気低迷による財政難を理由に削減されるようになると、橋梁建設業界内の受注競争が激化し、200 億円以上を保っていた売上高は、平成 16 年 3 月期には 100 億円を下回るに至りました。

(2) 私的整理ガイドラインに基づく私的整理手続による経営再建

売上高の低迷が続くなか、当社は、平成 18 年 3 月期に受注高が大幅に落ち込んで経常損失を計上するに至り、また保有不動産の多額の減損処理により、同期末時点で大幅な債務超過に陥る見込みとなったことから、平成 17 年 11 月に私的整理ガイドラインに基づく事業再生計画を策定して、平成 18 年 3 月に多額の債務免除を受けるとともに、第三者割当増資を受けて、債務超過状態を解消いたしました。

(3) 公共工事の減少に伴う受注高、売上高の減少

前記事業再生計画に基づく積極的な受注回復策が奏功し、平成 21 年 3 月期まで 2 期連続経常黒字を計上すると、平成 22 年 3 月期には、潤沢な受注残に支えられ、当期利益の黒字化も達成いたしました。しかし、その一方で、橋梁業界は、長引く景気低迷による公共事業費の削減と、平成 21 年 9 月の政権交代による公共事業見直しの影響から、受注競争は熾烈を極め、当社の受注高は、平成 22 年 3 月期以降計画を大幅に下回る結果となり、平成 23 年 3 月期において 18 億 6000 万円の経常損失を計上することとなりました。

(4) 市川工場売却と第三者割当増資による資金調達

このような状況のもと、当社は、平成 22 年 12 月、長年の経営課題であった多額の有利子負債の解消を図るとともに、売却代金の一部を運転資金に充当することによりキャッシュ・フローを改善することを目的として、会社の唯一の生産拠点であった市川本社工場を売却しました。

一方、当社は、新たな生産拠点として千葉県袖ヶ浦市に工場を賃借し、移転計画の策定及び設備等の移設を進めることとし、そのための設備投資資金及び当面の事業継続に必要な運転資金の調達に向け、取引銀行に限らず幅広く金融機関に対し融資を依頼し、金融機関との協議・交渉を行いました。平成 23 年 3 月期に多額の経常損失を計上していたこと等から、金融機関から資金調達を行うことはできませんでした。

そのため、当社は、やむなく有利発行による第三者割当新株予約権の発行により資金調達を図

り、設備投資資金及び当面の事業継続に必要な運転資金を調達しました。

(5) その後の受注不振

しかしながら、その後も、日本経済は、欧州の政府債務危機問題や円高の長期化、原油価格の上昇、中国経済の減速等により、予断を許さない状況で推移し、橋梁業界における平成 25 年 3 月期の第 2 四半期の発注量は、前年同期に対し若干上回る程度で推移したものの、高速道路会社による大ロットの大型物件が増加したため、発注件数は大きく減少し、受注競争は更に熾烈なものとなりました。

このような状況のもと、当社は引き続き受注力の強化に取り組み、近時ようやくその成果が現れ、受注が上向いておりましたが、平成 25 年 3 月期第 1 四半期会計期間までの受注不振の影響及び一部工事の進捗遅れ等により完成工事高の減少が続き、また、設計変更対象工事における先行コストの発生及び一部工事の採算性の悪化等により、同期第 2 四半期累計期間において 1 億 9000 万円近い営業損失及び 3 億 1000 万円以上の経常損失、3 億 2000 万円を超える四半期純損失を計上することとなったため、資金繰りが逼迫しました。

当社は、かかる資金調達の目処も立たないなか、今般、平成 24 年 11 月末日を期日とする決済資金の資金繰りの目処がつかず、自力での事業継続を断念し、破産手続開始の申立てを決断するに至りました。

2. 負債総額（平成 24 年 10 月 31 日現在）

約 26 億 9000 万円

3. 今後の見通し

今後につきましては、裁判所及び破産管財人のもとで、破産手続が行われることとなります。

また、本日付で東京証券取引所の整理銘柄に指定され、平成 24 年 12 月 11 日(火)が東京証券取引所での最終売買日、平成 24 年 12 月 12 日(水)が上場廃止日となる見込みです。

(ご参考)

1. 申立ての概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 申立日 | 平成 24 年 11 月 27 日 |
| (2) 申立裁判所 | 東京地方裁判所 |
| (3) 事件番号 | 平成 24 年(フ)第 14107 号 |
| (4) 事件名 | 破産手続開始申立事件 |
| (5) 申立代理人 | 東京都中央区築地一丁目 10 番 7 号 西山ビル 5 階 功記総合法律事務所 弁護士 田川 淳 一 ほか 3 名 |
| (6) 破産管財人 | 東京都中央区八重洲二丁目 8 番 7 号 福岡ビル 7 階 加茂法律事務所 弁護士 加茂 善 仁 |

2. 会社の概要

- | | |
|------------|--|
| (1) 商号 | 株式会社サクラダ |
| (2) 本店所在地 | 千葉県千葉市中央区中央二丁目 3 番 16 号 |
| (3) 設立年月日 | 大正 9 年 4 月 20 日 |
| (4) 代表者 | 代表取締役社長 曾田弘道 |
| (5) 主な事業所 | 本社、東京営業所、仙台営業所、名古屋営業所、大阪営業所、福岡営業所、 袖ヶ浦事業所、臨海事業所、五井事業所 |
| (6) 主な事業内容 | 鋼構造物（橋梁及びその他の鉄構物）の設計、製作、組立、据付並びに 販売 |
| (7) 資本金の額 | 19 億 0274 万 2199 円 |
| (8) 株式の状況 | 発行可能株式総数 5 億 1819 万 7540 株 発行済株式の総数 2 億 7314 万 2890 株 |

(9) 株主の状況 (平成 24 年 9 月 30 日現在)

株主総数 16,819 名

大株主の状況

| | |
|------------------------------|---------------------|
| 竹山 中三 | 3,500,000 株 (1.28%) |
| 野村證券株式会社 | 2,629,000 株 (0.96%) |
| サクラダ取引先持株会 | 2,151,075 株 (0.78%) |
| 日本証券金融株式会社 | 1,822,000 株 (0.66%) |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 6) | 1,801,000 株 (0.65%) |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 3) | 1,722,000 株 (0.63%) |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 2) | 1,512,000 株 (0.55%) |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,440,032 株 (0.52%) |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 8) | 1,337,000 株 (0.48%) |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 5) | 1,332,000 株 (0.48%) |

(10) 役員の状況 (申立日現在)

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役会長 | 宮田 重男 |
| 代表取締役社長 | 曾田 弘道 |
| 取締役 | 森谷 正彦 |
| 社外取締役 | 田島 幸樹 |
| 社外取締役 | 酒井 豊 |
| 常勤監査役 | 小倉 謙一 |
| 社外監査役 | 二瓶 修 |
| 社外監査役 | 榎本 義幸 |

(11) 従業員の状況 (平成 24 年 10 月 31 日現在)

138 名

(12) 労働組合

サクラダ労働組合

(13) 最近の業績推移

(単位: 円)

| | 第 141 期 H21. 4. 1~H22. 3. 31 | 第 142 期 H22. 4. 1~H23. 3. 31 | 第 143 期 H23. 4. 1~H24. 3. 31 |
|-------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 純資産 | 1,601,123,215 | 1,976,192,527 | 1,933,372,210 |
| 総資産 | 11,819,168,287 | 5,120,017,508 | 4,207,770,640 |
| 1 株当たり純資産 | 9.25 | 11.42 | 8.67 |
| 売上高 | 10,910,934,862 | 5,447,944,485 | 4,688,549,261 |
| 売上総利益 | 1,127,552,869 | ▲1,067,540,022 | ▲159,356,533 |
| 営業利益 | 529,008,911 | ▲1,711,628,146 | ▲799,157,410 |
| 経常利益 | 374,106,362 | ▲1,862,940,765 | ▲854,226,754 |
| 税引前当期純利益 | 297,260,335 | 388,677,025 | ▲563,344,627 |
| 当期純損益 | 198,582,637 | 375,186,225 | ▲542,740,126 |
| 1 株当たり当期純利益 | 1.15 | 2.17 | ▲3.05 |

(14) 関連会社について

非連結子会社である株式会社サクラダライフ及び持分法を適用しない関連会社である株式会社トーヨーテクニカにつきましては、いずれも破産手続、民事再生手続・会社更生手続等の申立てはいたしておりません。

以上